

令和6年10月1日

保護者の皆様

藤井寺市立道明寺東小学校

校長 家口 有紀子

### 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

清秋の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。平素は、本校教育活動にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、本年4月18日(木)に6年生で実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせいたします。

#### 1.【学力面】

○今年度の正答率は、国語68%で全国より0.3%、府より2%上回りました。算数61.0%で、全国より2.4%、大阪府より2.0%下回りました。ただ、全国・府との差はわずかになってはいますが、無解答率は、全国を上回り、あきらめずに取り組む態度に改善の余地があると考えられます。

##### ◎国語について

「読むこと」72.6% (府69.0% 全70.7%) 「話すこと・聞くこと」64.3% (府57.3% 全59.8%) については、全国平均・大阪府平均を上回っています。しかし、「書くこと」については、63.4%で (府65.9% 全68.4%) 全国平均・大阪府平均よりも正答率は下回りました。

特に「目的や意図に応じて、集め材料を分析したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかみる」は69.6%で全国平均より5.6%、「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に据えることができるかどうかをみる」は75.0%で、8.1%全国平均を上回っています。

また、「書くことについて」は、「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く」が44.6%で全国平均より12%下回っており、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか課題がみられる。

##### ◎算数について

「数と計算」領域が63.4%で全国より2.6%下回っています。しかし、「思考・判断・表現力」は52.0%で、全国より0.6%上回りました。また、記述式の正答率は、53.6% (府50.1% 全51.0%) で、全国平均・大阪府平均を上回っていました。また、どの領域・観点の正答率も全国平均・大阪府平均を下回ってはいますが差は僅かであり、改善がみられます。

「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるか」という項目では、全国より3.8%高く、60.7%でした。また、「折れ線グラフから必要な数値を読みとり、条件に当てはまることを言葉と数値を用いて記述できるか」の項目では、全国よりも2.7%高かったのですが、46.4%の正答率でした。記述問題は、全校・大阪府の平均正答率を上回っています。

「除数が小数である場合の除法の計算」58.9% (全70.1%) や「速さの意味」44.6% (全54.1%)、「データ活用」66.1% (全73.3%) と、全国平均を下回っています。式や場面と関連付けて

の読み取りや、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する問題に課題があります。

#### 《子どもたちの学力調査に取り組む姿勢》

今年度は、短答式や選択式の正答率が全国や大阪府の平均正答率より高かったが、無解答率が全国の平均や大阪府の平均より高かったことから、粘り強く取り組む姿勢に課題が見られました。

#### 《児童質問紙から》

「自分に良いところがある」(91.1%)「将来の夢や目標をもっている」(92.8%)は、大阪府の平均や全国よりもかなり高く、自己有用感が改善されています。「友達関係に満足している」は、(94.7%)で全国・大阪府より高くなっています。また、「先生はよいところを認めてくれると思いますか」については、80.3%(**府**91.3%,**全**89.9%)ですが、「困りごとがある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という問いには、44.6%(**府**37.7%,**全**30.2%)となっており、ほめているということに関して児童と教員で認識に差が出ています。ほめること(個々に応じた方法でほめる内容や言葉を意識して)や、しかること(具体的に指導する事柄や言動を丁寧に)をしっかりと伝えていく必要があります。

また、「いじめはどんな理由があってもいけない」の肯定的回答は(92.9%)ですが、さらに100%をめざして指導を継続していきます。

## 2.【生活面】

「毎日朝食を食べている」(80.4%)は全国・大阪府よりわずかに低いですが少しずつ改善されています。今後も保護者の皆様のご協力のもと取り組んでまいりたいと考えています。また、携帯・スマートフォンやコンピューターの使用・約束に関することでは、「平日、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」で4時間以上が26.8%(**府**23%,**全**17.7%)「端末で動画視聴しますか」で4時間以上が30.4%(**府**16.6%,**全**11.9%)となっています。これは、「携帯・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」については、約束を守っていると回答した児童が39.3%ですが、約束がないと答えた児童が17.9%(**府**10.0%・**全**13.7%)と高くなっています。

## 3.【課題解決に向けて】

◎本校の研究テーマである「主体的に学び、自分の考えを表現できる力の育成～考えたい 伝えたい つながりたい～」で学校図書館を活用した教科横断的な授業の中で「ゴールと出口」を意識した授業を行い、子どもに学習の達成感をあじわわせることを目標としています。国語科の授業でも子どもの主体性の向上をめざし「思考を深める発問の工夫」を考えて系統立てて積み上げていきます。記述式の問題の課題解決に向けて、複数の条件での文章作りや、文章の叙述を基に作品を捉える力を高めるための取組みも引き続き行ってまいります。

◎大阪府教育庁委嘱スクールエンパワーメント事業として、学校図書館を充実・活用した授業づくりに取り組んでいます。藤井寺市の学力向上プランにある出口の情意を意識したアウトプットする力を高めるために、その下支えとなる言葉の力の向上に引き続き努めてまいります。

◎読書活動の推進として、読み聞かせや学校図書館の整備、学校図書館の開館(毎日)を行い、語彙力を高めて書く活動との関連を図っていきます。また、読書に関しては、読んではいらぬが「心に響く」という物語や本に出会っていない可能性があるため、良い本と出会う仕掛け(読み聞かせやおすすめの

本の取り組み等)をすすめていき、不読率の改善につなげていきます。

◎漢字や言葉の学習を繰り返しの内容ばかりでなく、「使える知識」につながる工夫をしていきます。児童一人ひとりに「ことばのたからばこ」を配布し「条件作文」や文章作成の際に活用し、語彙力を高める取り組みを行います。

◎どの教科においても課題を正確にとらえ、「思考・判断・表現」(書くこと)や、「理由や根拠を明確にして伝えること」を意識して指導してまいります。「朝学習」「朝読書」、対話を重視した授業の中で書くこと・考えること・発表すること(相手を意識した)に力を入れていきます。

◎学力向上とともに、「体力作り」「心の教育」「ICT教育」にも力を入れ、「縄跳びカードを活用した取り組み」「時間走記録の取り組み」「人権教育週間(学期1回)」「ICTを活用した授業」を実施し、最後までやりぬく姿勢や関心・意欲が高まる授業をめざします。ICTは、思考ツールとして効果的な活用をしていくことで、情報活用能力の向上やアウトプットにつなげていく。

◎スマホやゲームについての指導については、養護教諭からの学級指導や保健だよりで家庭への発信を全学年で継続的に行っていきます。また、携帯・スマートフォンや端末などの使い方のルールや子どもの使用状況を確認してもらうよう啓発していきます。

◎学力向上をめざした取り組みにおいては、各家庭のご協力が欠かせません。次のようなことを参考に、お子様とともに考えたり、実行したりしてみてください。

《子どもたちへ》(参考)	《保護者の皆様へ》(参考)
1. 早寝・早起きの習慣をつけましょう。	1. 10時までに寝る習慣をつけさせましょう。
2. 朝ごはんを毎日食べましょう。	2. 子どもが朝食をとる習慣をつけさせましょう。
3. 毎朝トイレ(大)に行きましょう。	3. 排泄の話題を避けず、習慣化させましょう。
4. 「学年×10分以上の読書」をしましょう。	4. 読書ができる環境を作りましょう。
5. 自分で計画して学習しましょう。	5. 机に向かう習慣をつけさせましょう。
6. 前日に持ち物を確かめましょう。	6. 自分のことは自分で責任もってさせましょう。
7. テレビやゲームの時間を決めましょう。	7. 「テレビ等は2時間まで」を徹底させましょう。
8. 宿題は必ずやりとげましょう。	8. 宿題を仕上げたか確認しましょう。

★「早寝・早起き・朝ごはん」「家庭学習の習慣づけ」等、引き続きご理解とご協力をお願いします。早寝・早起きを習慣化すると、登校前の朝食・排泄の時間が確保でき、生活リズムの安定につながります。また、朝ご飯は、脳に栄養を与え、集中力が高まるという点で、学習の前提となる朝食はとても大切です。

★学習面では「学習の環境づくり」「机に向かって学習する習慣づくり」「時間を決めて学習すること」をお願いします。子ども部屋(学習部屋)の確保は必須ではありません。

★忘れ物を防ぐため、前日の内に持ち物を確認することは、学校生活の基本です。

★テレビを見る時間、ゲーム(スマホ等の利用)をする時間が大変増えています。使い方の確認と家庭内での約束づくりをお願いします。

★タブレットはあくまで学習ツールです。学習効果を高めるような使い方を心がけましょう。

★子どもが話しかけてきたら、他の用事をしていても、できるだけ顔を見て聞いてあげてください。子どものやる気につながる第一歩です。

★「結果だけでなく課程や頑張りを認める・褒める」「具体的事柄や言動についてなにが良かったかを伝える」は子どもの成長にとってとても大切なことです。教職員も意識して取り組んでまいります。